

花火もお祝い？

報恩講をお勤め

気持ちの良い秋、十月二十六日、二十七日に報恩講をお勤めしました。今年も・布教使さんをお呼びせず、住職がお取次をされましたところ、夜座に初夜礼讃をお勤めした後の休憩中に、突然「ボンーン！ ボーンーン！」という大きな花火の音が！ 三ツ池地区の花火大会だそうで、お参りの皆さんと一緒に、本堂の縁側に座って、しばし花火鑑賞をしました。「まるで報恩講のために花火が上がったみたいや」と話しながら和気あいあいとしたひとときでした。

二日目の満日中のお参りでは、落語家で天台宗の僧侶でもある露の団姫(つゆのまるこ)さんの仏教落語の動画を鑑賞しました。



露のさんは、「落語家としては「ブ」ですが、僧侶としてはアマ(厄)です」などと笑いを誘いながら、「お血脈(けちみやく)」の落語を披露され、堂内は笑いに包まれました。

ところで、報恩講には、住職以外の僧侶の方がお参りしてください。それぞれのお寺では、相焼香(あいじようこう)と言って、二つのお寺でお参りしあったり助け合ったりすることになっていきます。覚浄寺の相焼香は隣寺の安正寺さんです。そのほか、町内の法城寺さん、一乗寺さん、称名寺さんが、報恩講にお参りをしあうことになっていて、今年も称名寺のご住職がお参りしてくださいました。みなさんもご都合がつくかぎり、ご近所のお寺の報恩講にも是非お参りしてご聴聞ください。

報恩講が終わるとホッとするとともに、秋の深まりを感じます。朝晩が冷え込みます。みなさまくれぐれも体調にお気をつけください。 合掌

報恩講をもって年行司さんが交代されました。安達みさ子さん、田中利男さん、安食恵子さん一年間お世話様でした。引き続き、田中仁一さん、堀増夫さん、横井保夫さん、よろしくお願ひいたします。

十一月(霜月)
四日(月) お講(十一時)



”すすはき”お疲れ様でした

報恩講に先立って、十月十九日に、すすはきをおこないました。おかげさまで本堂や書院、境内がすっかり綺麗になりました。皆さま、お忙しい中ありがとうございました。また、境内の松が、昨年まで元気がなく剪定ができていなかったのですが、今年は元気を取り戻し青々と繁っていましたので、職人さんに葉刈りをしていただきました。すすはきでは、松の枝を支える支柱もなおしていただきましたので、見事な姿が蘇りました。

山科別院の念仏奉仕

山科二十五日の山科別院念仏奉仕がおこなわれ、覚浄寺から、田中三郎さん、澤泰人さん、倉内英治さん、安居智紀さんが参加して奉仕作業に励んでくださいました。境内は大変広く、特に境内の落ち葉掃きが大変です。山科別院は、蓮如上人の時代の本山でした。蓮如上人が近江の国との縁が深いため、滋賀県の門徒が中心となって「〇〇講」というグループを作って山科別院を護持しています。今年も山科別院の報恩講前に無事に奉仕を終えてくださいました。なお、例年、役員さんを中心に奉仕に参加していただいておりますが、門徒との皆さまのご参加も歓迎です。是非お声がけください。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



お寺めぐり(韓国 曹溪寺)

今回から韓国編です。以前、仕事で訪れたソウルにある曹溪寺(チョグセ)を紹介しします。曹溪寺は、韓国で最大の宗派である曹溪宗の総本山です。



観光客の多い明洞地区から、テクテクと歩くこと三十分。仏具屋や念珠店が並ぶ通りを進んでいくと、突然、派手派手でカラフルな提灯をぶら下げたお寺が現れます。境内に入ると、なんと空が見えないほど一面に色鮮やかな提灯が飾られ、爽やかな風が吹き抜けていました。これらはすべて寄進されたものだそうです。たくさんの方が思い思いにのんびりと参拝されていて、私もつられて境内をぶらぶら散

策しました。

本堂を覗いてみると、立派な三体の大仏さまが鎮座され、多くの参拝者が熱心にお参りしておられます。

言葉はわかりませんが、私も一緒にお参りし、とっても清々しい気持ちになりました。

ところで、ソウルでは、毎年五月に、

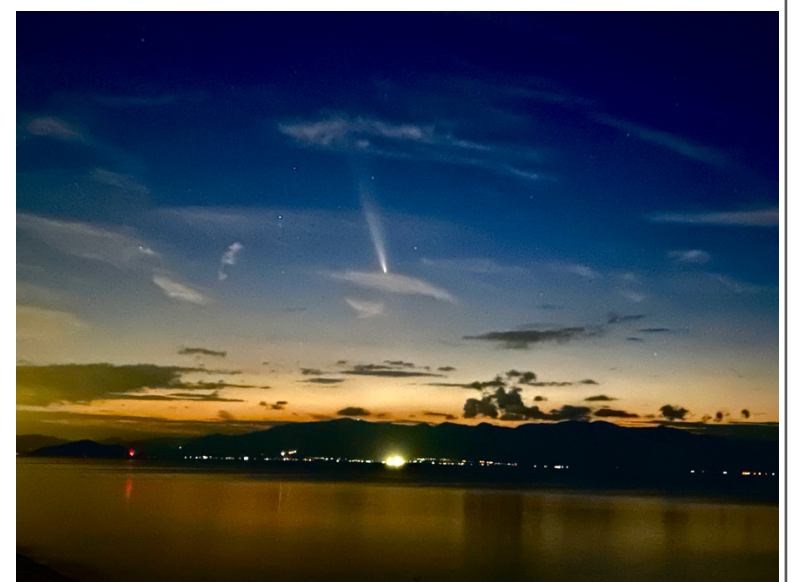
お釈迦さまのお誕生をお祝いする燃灯祝祭というイベントが行われるそうです。日本という「花まつり」です。ただ、その規模が桁違いで、たくさん

の巨大な「ねぶた」のような人形が町中に飾られるさまは圧巻だとか。そして曹溪寺をスタート地点にして、韓国

中から集まった十万人以上の仏教徒が提灯を手に持って、道路を練り歩くのだそうです。そのほかにも、約一ヶ月の間、さまざまなイベントが行われるとのこと、まさにソウル最大のお祭りですね。

さて、韓国といえば美味しいものがたくさんあります。焼肉のサムギョプサルは、脂身が網の下に落ちてあっさりした美味しさ。サンチュの葉っぱで、キムチや野菜と一緒に巻いていた

だきました。とってもヘルシーですよ。



住職の星空案内

みなさん、紫金山・アトラス彗星を見つけられましたか？ 見頃迎えた十月中旬は天候に恵まれずにヤキモキしましたが、いてもたってもいら

れず、夕方に琵琶湖畔まで見に行ってみました。だんだん日が暮れて暗くなってくると、おお、西の空に長い

尾を伸ばした姿が肉眼でもはっきり見えるじゃないですか。感激して思わずスマホでパチリと撮ったのが右

の写真です。今は、もう太陽や地球から離れ、肉眼で見えることはできません。長生きして八万年待てば、また見

られるそうですよ。気が遠くなりそうですね。グッバイ！

くいずクイズ QUIZ

秋の俳句です。それぞれ誰が詠んだか、左の番号から選んでください。

「秋深き 隣は何を する人ぞ」

「名月をとつてくれろと 泣く子かな」

泣く子かな

「柿くえば

鐘が鳴るなり 法隆寺」

「牛の子の 大きな顔や 草の花」

- ① 小林一茶
- ② 松尾芭蕉
- ③ 正岡子規
- ④ 高浜虚子

先月号の答え

